

北海道浮魚ニュース

平成 16(2004)年度 2 号 (通巻 No.166)

2004 年 5 月 13 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道西日本海スルメイカ資源動向

日本海区水産研究所からスルメイカ幼生の分布状況が発表されましたので、これと合わせて道西日本海スルメイカ資源動向をお知らせします。

1) 漁獲量と漁船の CPUE・延隻数 (図 1, 2)

2003 年の道西日本海のスルメイカ漁獲量は 28,587 トン(暫定値)で 2002 年(26,187 トン)を上回ったものの、近年(1989 年以降)ではやや少なくなっていました(図 1)。地域別では道央で前年を上回りました。

また、2003 年の小型いか釣り漁船の CPUE(1 隻 1 日当たりの漁獲尾数または重量)は、稚内港で前年を上回りましたが、余市港と松前港が前年を下回りました(図 2)。延隻数は、稚内港が前年並、余市港が前年を上回り、松前港が前年を下回りました。

2) スルメイカ幼生の分布密度 (図 3)

毎年、秋季に日本海南西部海域で行われているスルメイカ幼生調査の結果、2004 年(今年)に漁獲対象となる 2003 年秋季の幼生の分布密度は、前年を大きく下回りました。しかし、資源水準の低下の一因となる産卵場の縮小化は見られないため、大幅な資源の減少までには至らないと考えられます。

(文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709)

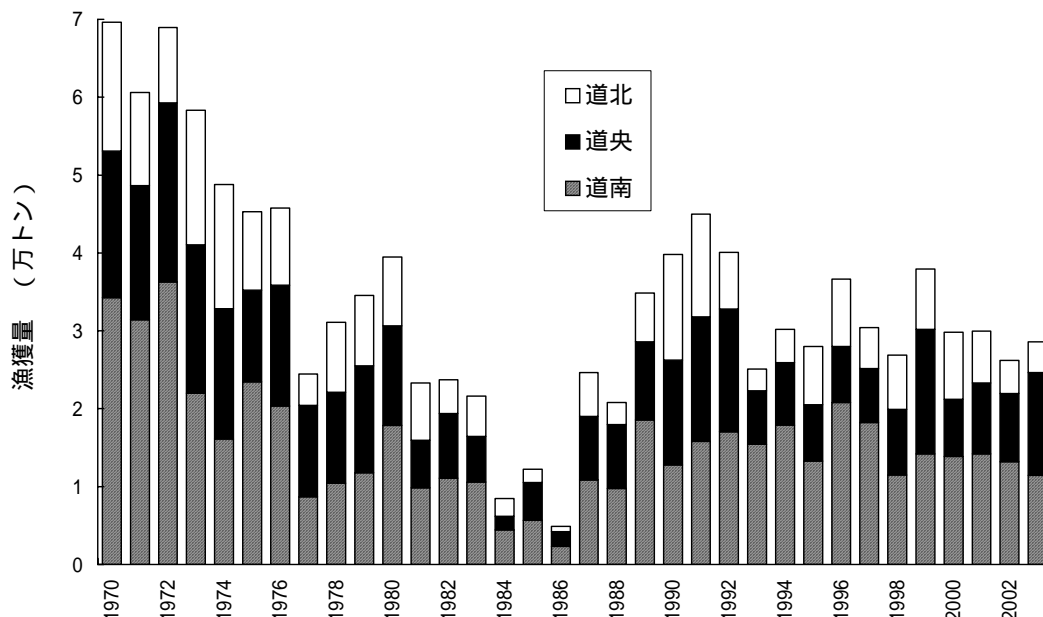


図 1 道西日本海におけるスルメイカ漁獲量の経年変化

注) 道北:留萌・宗谷支庁, 道央:後志・石狩支庁, 道南:渡島(松前・福島町のみ)・檜山支庁

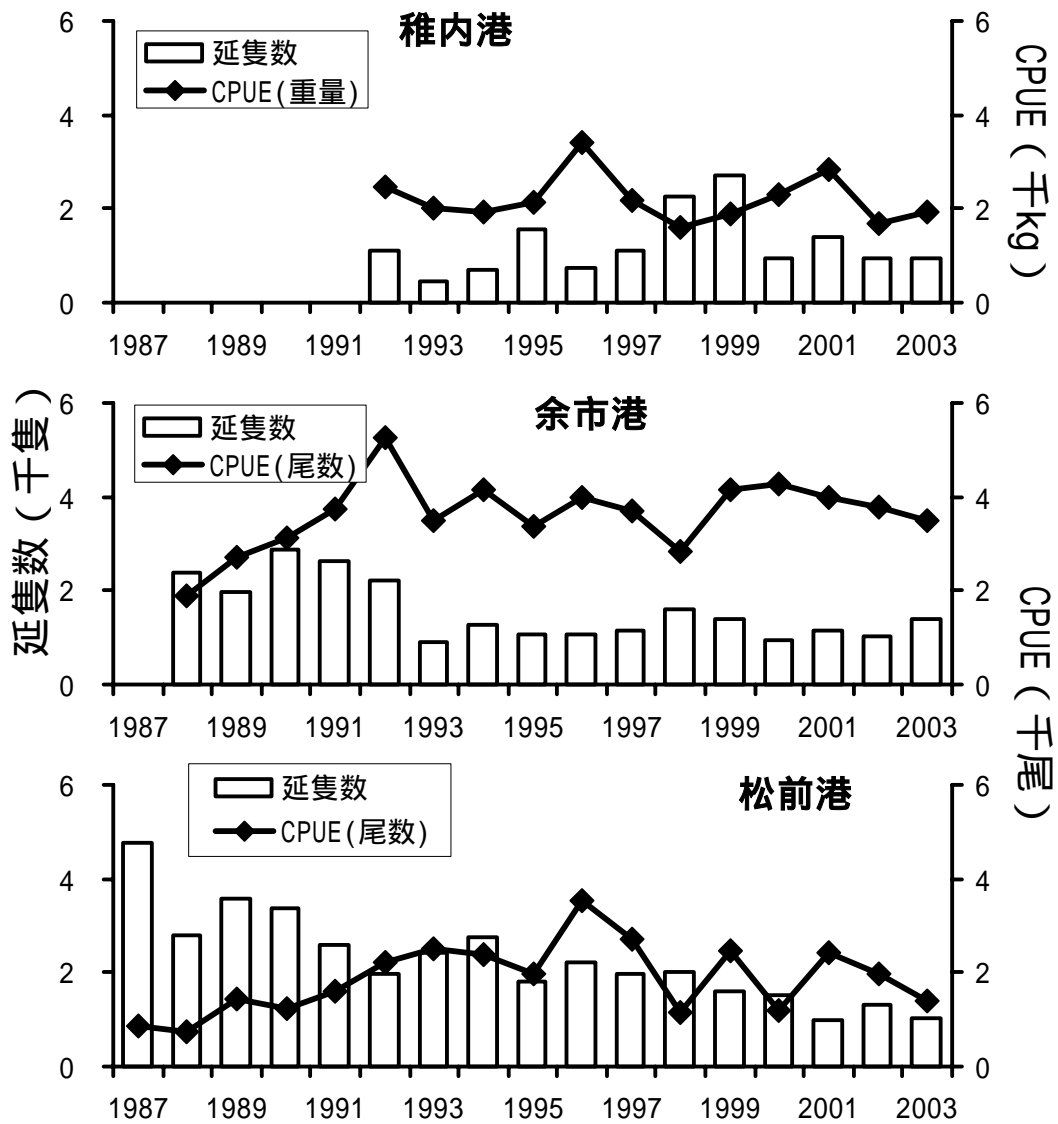


図2 道西日本海における小型いか釣船の水揚げ隻数とCPUE
 注) CPUE: 1隻1日当たりの漁獲尾数または重量(kg)

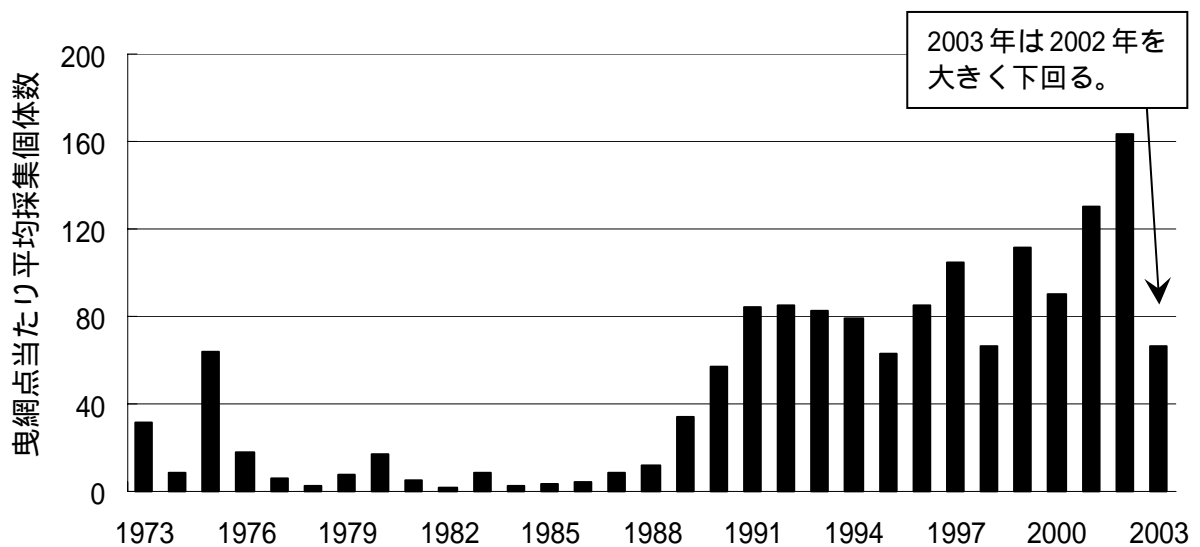


図3 日本海南西部における秋季のスルメイカ幼生分布密度の経年変化
 (日本海区水産研究所資料,本調査は水産庁委託事業(我が国周辺水域資源調査等推進対策)で得られた資料)